

第 41 代九州女王に城間絵梨 (福岡レイクサイド)

大会史上最少スコアの通算 **6 アンダー** で逆転初優勝



第 41 代女王に城間絵梨 (福岡レイクサイド)。第 41 回九州女子選手権競技は 19 日、最終ラウンドを行い、福岡・沖学園高 3 年、城間が通算 6 アンダー、138 で初優勝した。6 アンダーは大会最少スコア。

城間は日本ナショナルチームメンバー。首位に 4 打差の 5 位タイでスタートしたこの日、1 イーグル、5 バーディー、2 ボギーの 67 という好スコアで回り、逆転。初日首位だった福田真未 (福岡) はバーディーなしの 5 ボギー、77 とスコアを乱し、通算イーブンパー、144 で 8 位タイに終わった。

1 打差の 2 位にこの日 68 をマークした比嘉真美子 (ベルビーチ) が初日の 5 位タイから浮上。さらに 1 打差の 3 位に山村彩恵 (九州)。

6 オーバーまでの 26 人と、7 オーバー 6 人のうちマッチングスコアカード方式で選ばれた 1 人の計 27 人が 6 月 21 日から、兵庫県・宝塚 GC 新コースで開かれる第 53 回日本女子アマ選手権への出場権を得た。

11 月 17~18 日、三重県・四日市 CC で開かれる第 16 回日本女子ミッドアマチュア選手権には計 11 人が出場資格を得た。

また、年齢別競技では A 組 (29 歳以下) で田口晴菜 (熊本空港)、B 組 (30~49 歳) 船津美和 (西戸崎シーサイド)、C 組 (50 歳以上) 田倉美月子 (肥後) が優勝した。



A 組優勝の田口晴菜



B 組優勝の船津美和



C 組優勝の田倉美月子

初日は福田真未（福岡）がー5で単独トップ

2 打差の 2 位に田口晴菜（熊本空港）

平成 23 年度九州ゴルフ連盟主催競技（決勝）の初戦、第 41 回「九州女子選手権競技」が開幕。第 1 ラウンド・予選が 18 日、志摩シーサイドカンツリークラブ（6318 ヤ、パー72）で行われ、前年優勝の福田真未（福岡）が5アンダー、67 のスコアで単独首位に立った。2 打差の 3 アンダー、2 位には田口晴菜（熊本空港）。さらに 1 打差の 2 アンダー、3 位に秋山真凜（志摩シーサイド）と香妻琴乃（宮崎レイクサイド）の 2 人がつけた。



(C)GUK

5
アン
ダー
で
単
独
首
位
の
福
田
真
未



(C)GUK

2
アン
ダー
と
好
発
進
の
秋
山
真
凜



(C)GUK

過去最多の 8 人がアンダーパーをマーク

初日アンダーパーをマークしたのは過去最多の計 8 人、混戦模様スタートとなった。

大会には史上最多となる 221 人がエントリー（うち欠場 7 人、棄権 1 人）。晴れ、気温 24.4 度、北の風 4 ㍓（正午現在）と絶好のコンディションでの戦いとなった。



(C)GUK

単独 2 位の田口晴菜

福田はスタートの 1 番でピン奥からの 8m を沈めてリズムに乗り、ボギーなしのアウト 34、イン 33 と 5 バーディーで回り、単独首位に立った。

これを自己ベストの 3 アンダー、69 で回った田口が単独 2 位で追い、さらに 1 打差の 3 位に福岡・沖学園中 3 年の秋山と、プロを目指している香妻がつけた。

期待された今年の日本ナショナルチームメンバーは、福岡・沖学園高 3 年、城間絵梨（福岡レイクサイド）、沖縄・本部高 3 年の比嘉真美子（ベルビーチ）の 2 人がともに 1 アンダーの 5 位タイにつけたが、大分高 1 年、新海美優（大分中央）は育成選手の柏原明日架（宮崎大淀）とともに 1 オーバー 15 位タイ、宮崎日大高 1 年、永峰咲希（同）は 4 オーバー、39 位タイと出遅れた。

なお、この試合で与那嶺真代（ベルビーチ）が 17 番でホールインワンを記録した。

この日の結果、9 オーバー、81 の 92 位タイまでの 103 人が最終日の決勝ラウンドに進出した。

【選手の話】

首位の福田真美 1番で8mくらいのパットが入り、波に乗れた。アプローチ、パターとよくて、まずまずのラウンドでした。(現在プロテスト受験中) 応援していただいている方々の期待をひしひしと感じています。アマチュア最後の九州女子だから2連覇目指したい。

2位の田口晴菜 ドライバー、アイアンともあんまりよくなかったけど、アプローチが寄ってくれた。風がなく、距離も短いからもっと伸ばさなくちゃいけなかった。(昨年は3位タイ) 明日は優勝目指して頑張る。

秋山真凛 (今春、福岡・沖学園中に転校、前半で3アンダーも最終18番でボギー) いつもに比べて風がなかった。パー5でバーディーが取れなかったのがちょっと…。けど内容的には良かった。明日は、余裕で日本女子アマに行けるように頑張りたい。

柏原明日架 (今春、宮崎・日章学園高進学。期待されながらも1オーバーの15位タイ) 今日のコンディションでのオーバーは痛い。全体的にはかみ合わなかったけど、2バーディー、3ボギーは我慢した方かな? 明日は、ちゃんと逆算したショットをしないと…。

平成23年度(第41回)九州女子選手権競技

競技報告・大会前日 (2011/05/17)

写真と記事: GUK

いよいよGUK公式戦(本戦)スタート

史上最多の200人超が出場

あす九州女子選手権競技が志摩シーサイドCCで開幕



前年優勝の福田真未

平成23年度(第41回)「九州女子選手権競技」が18日、福岡市に隣接する糸島市の志摩シーサイドカンツリークラブ(6318㎡、パー72)で開幕する。

九州ゴルフ連盟主催競技(決勝)の初戦となるもので、初日の18日は予選ラウンド18ホールストロークプレーが行われる。

出場選手はJGA女子Hcup16.4までの選手と、九州学生ゴルフ連盟、九州高校ゴルフ連盟推薦の各3選手、計221人エントリーしており、大会史上最多。

昨年の覇者、福田真未(福岡、沖学園高出身)や香妻琴乃(宮崎レイクサイド、宮崎・日章学園高出身、09年優勝)、比嘉真美子(ベルビーチ、沖縄・本部高3年、08年優勝)、澤田沙都子(琉球、興南高→早大進学、07年優勝)らナショナルメンバーとしても活躍した歴代優勝者が顔をそろえた。また、昨年の九州女子選手権、日本女子アマ選手権で2位になった柏原明日架(宮崎大淀)は今春、高校(宮崎・日章学園)に進学しての心機一転しての参戦。

今大会も、こういったジュニア若手による優勝争いが予想される。特に高校生トリオでならした福田、香妻、澤田が卒業。プロを目指している福田、香妻はアマ最後の九州選手権でもあり、有終の美を飾れるか。さらには、彼女たちの後を受け継ぐ若い芽の台頭があるのか、興味が尽きない2011シーズンの幕開けでもある。

会場の志摩シーサイドCCは昭和52年(1977年)開場で、糸島半島の北部に位置し、玄界灘に面したシーサイドコース。全体的にフラットでフェアウエーも広いが、風が吹くと様相が変わり、難コースになる。

1組目は午前6時50分、アウト、インからスタートする。